

町長の「余白に書かせて!!」

～ episode 31 ～

大山町長 竹口 大紀

6月7日、東京の一般社団法人「ワークデザインラボ」と大山町で連携協定を締結しました。首都圏を中心に、上場企業勤務者などで複業を実践する約130人が会員となっているワークデザインラボは、日本各地で企業や行政と連携し、地域課題の解決などを手掛けています。

2019年から鳥取県内でのプロジェクト拡大に向けて同団体が活動する中で、大山町との関わりがあったことから、連携の模索を続けてきました。

今回の協定締結によって進める取



▲調印式もオンラインでしています

り組みは、都市部の複業人材と大山町内で課題を解決したい企業、団体をつなげるための土台づくり。その土台をつくるために、行政組織としても「起業を促進する環境づくり」アウトドアフィールドを活かす観光「オンライン教育の充実」などをテーマに、プロジェクトを動かしていく考えです。

専門人材が少ない地方での課題解決に、多様な経験や技能を持った人材を掛け合わせながら、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めていきたいと思えます。

大山チャンネル113

[新番組放送時間]
(6:00/9:00/12:00/15:00/17:00/
18:00/20:00/21:00/24:00)

<PICK UP 大山>

(7/1～、7/11～、7/21～ 新番組スタート)

大山町のニュース、地域の出来事、暮らしに役立つ情報などをピックアップ。大山町の「いま」が見える話題をお届けします。町民が主役のドキュメントコーナーや町の歴史や知られざる魅力に迫る特集企画もお楽しみに。

<大型企画スタート! 大山100年LIFEプロジェクト>

人生100年時代。人口減少や高齢化が進む中、いくつになっても安心して楽しく暮らしていくには、一人一人がどんなことを考えて行動していくといいのでしょうか? 大山チャンネルでは、「人生の最期まで笑顔で過ごせる町へ」をテーマに、年間を通じて様々な番組をお届けしていきます。ぜひ、テレビ前のみなさんも一緒に考えてみてください。

[問い合わせ・番組への情報提供]

株式会社アマゾンラテルナ鳥取大山オフィス 担当: 貝本・白石

大山町富長159-1 BIKAI 2F ☎0859-54-3785 daisenchannel@gmail.com

7月1日からの放送では、「大山100年LIFE～人生の“その時”をどう迎えるか?」と題して、自宅での看取りを希望する住民に寄り添い続けた、ある一人の医師に密着。患者さんの想いを叶えようと奮闘する姿を取材しました。スタジオには、町内で活動する医師や住民が集まり、在宅医療や看取りについて語り合います。



大山100年LIFEプロジェクトとは?

老後の暮らし、老後の医療や介護について、一人一人が考える機会を提供していくプロジェクト。日本財団の支援で、大山診療所の井上所長、鳥取大学医学部の医師、地域の医療福祉関係者らが中心となって企画・実施する。大山チャンネルを活用した特集番組のほか、「在宅看取り」をテーマにした映画制作なども予定されている。

主催/大山100年LIFE実行委員会

協力: 鳥取県×日本財団 後援: 大山町